

国連食糧農業機関（FAO）リクルートミッションのご案内

外務省国際機関人事センター

国連食糧農業機関（FAO）は、リクルートミッションを日本に派遣し、8月3日から10日までの間、面接を行います。詳細は、FAOのウェブサイト（<http://www.fao.or.jp/detail/article/887.html>）をご覧ください。以下のとおり、今回のリクルートミッションは、海外で活躍されている皆様にとっても、貴重な機会かと思われまますので、是非応募をご検討いただければ幸いです。

応募受付は、ローマ時間の7月16日（月）23時59分までであり、あまり時間はありませんので、ご注意ください。

I. 募集対象分野

今回募集されるのは以下の21の分野です。FAO特有の分野だけではなく、財務、人事、IT、監査などのサポート・サービスや、ドナーリレーションやプログラムオペレーションなども対象となっています。

- 1 Finance/Budget Officer
- 2 Human Resources Officer
- 3 IT Officer
- 4 Auditor
- 5 Administration
- 6 Partnership/Resource Mobilization Officer
- 7 Information/Media/Advocacy
- 8 Field Programme/Project Operation
- 9 Conference. Council and Protocol Affairs
- 10 Policy and Programme Development
- 11 Agriculture
- 12 Forestry
- 13 Fisheries
- 14 Agriculture Economics/Statistics/Trade
- 15 Natural Resources Management
- 16 Communication/Extension
- 17 Gender/Rural Development
- 18 Nutrition/Food Safety
- 19 Livestock/Animal Health
- 20 Environment Protection/Climate Change
- 21 Others

今回のミッションでは、個別のポストを提示して、応募者がポストを選んで応募するという方法ではなく、FAOで働くことに興味がある者にとりあえず応募してもらい、

FAO側で応募者のバックグラウンドに応じて21の分野に振り分け、書類選考、面接の結果、それぞれの分野で候補者を選抜します。

FAOでは、現在新たなポストを出すことが凍結されていますが、今後新たなポストが出た際には、今回のリクルートミッションで選抜された者がその有力な候補者となります。

II. 募集レベル・応募要件

今回、募集するレベルは、P1からP5です（ご自分がどのレベルに応募するのかを特定する必要はありません）。学士号を取得している方で、1年以上の職歴があれば、応募できます。

III. ミッションの訪日期间中に日本にいない方の扱いについて

面接のために帰国していただく必要はなく、スカイプなどを利用した面接を実施することです。